

テーマ設定型事業（令和4年度活動事例）

「高校生×盛岡の商店街×〇〇＝地域への愛着」事業

事業の内容

高校生が商店街とつながり、商店街が高校生にとって居場所の一つとなり、地域への愛郷心を育み、将来的な地元定着促進へつなげることを目的に、毎月のワークショップを重ねて商店街の方々と対話を設けて、9月末に開催された「もりおか産業まつり」にて高校生×商店街で商品販売を実施しました。



○内容

- ・「もりおか産業まつり」において高校生×商店街での商品販売の企画や反省などをテーマとした計7回のワークショップを開催。
- ・9月22日～25日に川徳にて開催された「もりおか産業まつり」にて高校生×商店街で商品販売を実施
- ・令和5年3月11日～12日に、商店街のファンブックを作成しつつ街の魅力を再確認するfacebookワークショップを開催

高校生が地域に対する愛着をもつために

9月22日～25日に開催された「もりおか産業まつり」にて高校生×商店街での商品販売のほか、

インタビュー、アンケートといった高校生にとって実践的な教育の場を設けることができました。

今回のワークショップ、「もりおか産業まつり」での高校生×商店街での商品販売を通して、高校生が商店街とつながり、足を運ぶきっかけを作ることができました。商店街が高校生にとっての居場所の一つになり、地域に対する愛着をもつことで、Uターンにもつながればと思っています。



【実施主体】

ドリーム・シード・プロジェクト

【設立年月日】

平成26年12月

【代表者】

工藤 時広

【主な活動実績】

○盛岡市による「中高生の未来可能性創出事業」の一環としてパイセンcafeを毎月実施

○ふじポンをはじめ岩手で活躍する大人をゲストに迎え、子どもたちにとって知らない岩手の魅力を伝える「High School DRIVE! 岩手で生き残る!」を開催

○認知症当事者をホールスタッフとして活躍の場を高校生とともに「注文をまちがえるカフェ」の運営に協力

【令和4年度補助額】

500,000円

【事業のテーマ】

高校生などが地域において学びを得られる機会の提供

（協働担当課：都市戦略室）

第2期盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、若者の地元定着に取り組んでいるところですが、転出者が転入者を上回る「転出超過」の状態が続いています。こうした中で、進学や就職などで県外に転出する前に、地域に対する愛着を持つことでUターンにつながることが期待されています。こうした背景を踏まえて、若者の愛郷心を涵養し、地元定着促進を目的として、高校生、専門学校生、大学生などが本市における地域課題に触れ、また地域で活動する人々と交流する機会を提供することを目指します。